

公園緑地工事標準歩掛
(施工パッケージ型積算方式対応)

平成24年10月

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課

目 次

I 基盤整備	1
1 敷地造成工	1
1- 1 適用範囲	1
1- 2 整地工	1
1- 2- 1 トラクター土工	1
2 擁壁工	3
2- 1 適用範囲	3
2- 2 コンクリートブロック工	3
2- 2- 1 コンクリートブロック（空洞ブロック）積	3
2- 3 石積工	4
2- 3- 1 崩れ積及び面積	4
2- 3- 2 小端積	6
2- 3- 3 雑割石－空石積	8
2- 3- 4 雑割石－練石積	9
2- 3- 5 雑割石－空石張	11
2- 3- 6 雑割石－練石張	12
2- 3- 7 雑石－空石積	13
2- 3- 8 雑石－練石積	14
2- 3- 9 雑石－空石張	16
2- 3- 10 雑石－練石張	17
2- 3- 11 割石積	18
2- 3- 12 胴込・裏込コンクリート投入打設	20
II 施設整備	21
1 給水設備工	21
1- 1 適用範囲	21
1- 2 水栓類取付工	21
1- 3 給水管路工	22
1- 3- 1 給水管	22
2 雨水排水設備工	24
2- 1 適用範囲	24
2- 2 施工フロー	24
2- 3 側溝工	24
2- 3- 1 L型側溝及びV型側溝	24
2- 4 管渠工	25
2- 4- 1 公園管渠	25
2- 5 集水樹・マンホール工	26
2- 6 地下排水工	28
2- 6- 1 透水コンクリート管	28
3 汚水排水設備工	29
3- 1 適用範囲	29
3- 2 汚水樹・マンホール工	29
3- 2- 1 インバート上塗り	29

4 園路広場整備工	30
4- 1 適用範囲	30
4- 2 コンクリート系舗装工	30
4- 2- 1 公園コンクリート舗装	30
4- 3 土系舗装工	31
4- 3- 1 混合	31
4- 4 レンガ・タイル系舗装工	32
4- 4- 1 レンガ舗装	32
4- 5 石材系舗装工	33
4- 5- 1 ごろた石張舗装	33
4- 5- 2 小舗石舗装	34
4- 6 園路縁石工	36
4- 6- 1 レンガ縁石	36
4- 6- 2 石材縁石	38
5 修景施設整備工	40
5- 1 適用範囲	40
5- 2 石組工	40
5- 2- 1 石組・景石	40
6 サービス施設整備工	44
6- 1 適用範囲	44
6- 2 ベンチ・テーブル工	44
6- 2- 1 ベンチ・スツール	44
7 管理施設整備工	45
7- 1 適用範囲	45
7- 2 柵工	45
8 施設仕上げ工	48
8- 1 適用範囲	48
8- 2 加工仕上げ工	48
8- 2- 1 コンクリート加工仕上げ	48
8- 3 左官仕上げ工	49
8- 3- 1 モルタル練工	49
8- 3- 2 化粧目地切	49
8- 3- 3 コンクリート仕上げ	50
8- 3- 4 モルタル仕上げ	50
8- 3- 5 人造石仕上げ	53
8- 4 石仕上げ工	55
8- 4- 1 石張仕上げ	55

I 基盤整備

1 敷地造成工

1-1 適用範囲

公園緑地工事に適用する。なお、小舗石の直線張りによる舗装工に適用する。

1-2 整地工

1-2-1 トラクター土工

(1) 施工歩掛

公園工事用小型機械

トラクター（1 t 級）

1 時間当り作業量の算定式は次の通りとする。

$$V t = \frac{60 \cdot W \cdot V \cdot E}{N} \quad (\text{m}^2/\text{h})$$

W：平均幅（m）
V：作業速度（m/min）
E：作業効率
N：作業回数

(2) 1 時間当りの作業量

表 1.1 W・V・E・N 標準数値

作 業	W (m)	V (m/min)	E		N	摘 要
			砂、砂質土	礫質土、粘性土		
耕 起	1.60	24.3	0.80	0.70	2	
碎土・整地	1.90	28.8			2	オフセットディスクハロー
肥 料 散 布	1.80	41.1	1.00	1.00	1	ブロードキャスター ライムソワー
播 種	1.80	24.3			1	ブロードキャスター

表 1.2 小型機械土工（トラクター）歩掛 （m²当り）

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
トラクター運転	1 t 級	h		1 / V t

表 1.3 小型機械土工（トラクター）単価表 （m²当り）（WB610310）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
トラクター運転	1 t 級	h		1 / V t 表1.4
諸 雑 費		式	1	
計				

表 1.4 トラクター運転単価表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		l	2.6	
特 殊 作 業 員		人	0.2	
機 械 損 料		h	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

2 擁壁工

2-1 適用範囲

本資料は、公園工事におけるコンクリートブロック工及び石積工に適用する。

2-2 コンクリートブロック工

2-2-1 コンクリートブロック(空洞ブロック)積

(1) 施工歩掛

建築用空洞ブロック(B種)積の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 コンクリートブロック(空洞ブロック)積工歩掛表 (1㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量			備 考
			100mm	120mm	150mm	
建築用空洞ブロック	390×190 (B種)	個	13	13	13	
セ メ ン ト		kg	13.1	16.6	24.2	
砂	細 目	m ³	0.03	0.03	0.05	
鉄 筋		kg	3.7	3.7	3.7	
建 築 ブ ロ ッ ク 工		人	0.12	0.13	0.14	
普 通 作 業 員		〃	0.05	0.06	0.08	

- (注) 1. 片面のみ目地等の仕上げをする場合は、建築ブロック工を 0.025人/㎡、
両面とも目地等の仕上げをする場合は、建築ブロック工を0.05人/㎡加算する。
2. 鉄筋加工組立は、上記労務費に含まれる。標準的には縦横ともD-10@400 と
し、その場合の数量は3.7kg/㎡とする。
3. 小運搬距離は、20m程度とする。

(2) 単価表

コンクリートブロック(空洞ブロック)積 1㎡当り単価表 (WC698300)

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
建築用空洞ブロック	390×190 (B種)	個		表2.1
セ メ ン ト		kg		〃
砂	細 目	m ³		〃
鉄 筋		kg		〃
建 築 ブ ロ ッ ク 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

2-3 石積工

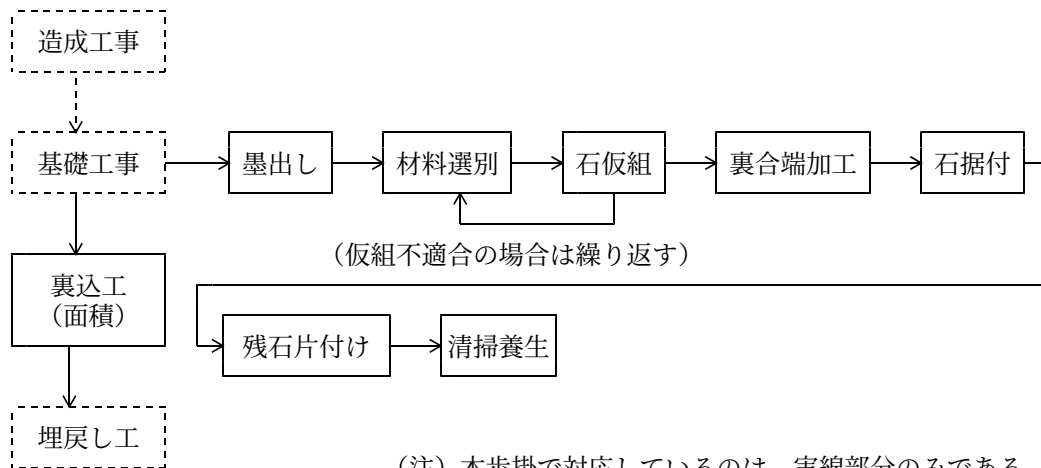
2-3-1 崩れ積及び面積

(1)適用範囲

本資料は、野面石を修景的配慮を加えながら（崩れ積・面積を含む）施工を行う石積工に適用する。

(2)施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3)施工歩掛

崩れ積・面積（野面石修景積）施工歩掛は次表を標準とする。

①野面石修景積工

表 2.2 野面石修景積工歩掛表

(10㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
世 話 役		人	1.0	
石 工		〃	1.9	
普通作業員		〃	2.8	

(注) 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。

表 2.3 野面石使用量

(10㎡当り)

材 料	規格・形状	単 位	数 量
野 面 石	φ300 ～1000mm	個	40

(注) 特殊な形状、施工方法等の場合は、別途考慮する。

②胴込・裏込コンクリート投入打設

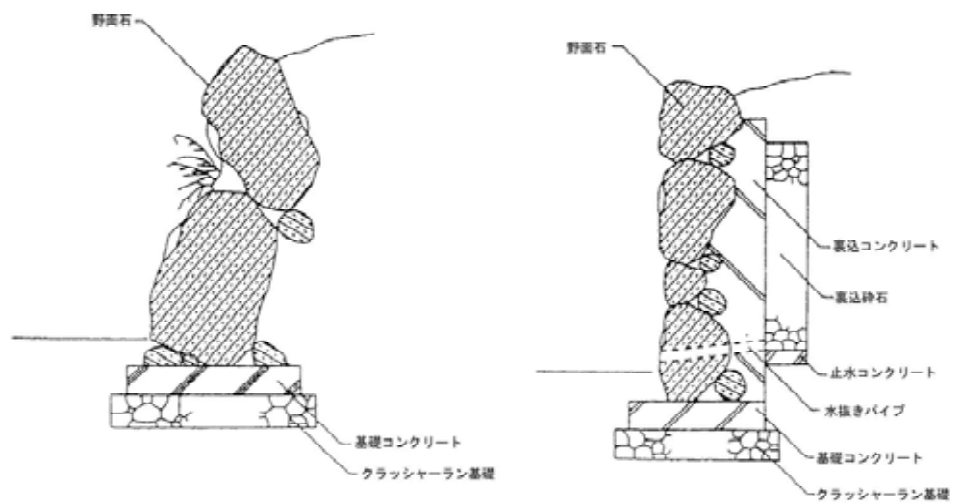
胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「2-3-12胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(4)単価表

崩れ積及び面積10m²当り単価表（WC690800、WC690900）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.2
石 工		//		//
普 通 作 業 員		//		//
野 面 石		個		表2.3
諸 雑 費		式	1	
計				

(参考図)



2-3-2 小端積

(1)適用範囲

本資料は、割小端石による割小端積に適用する。

(2)施工歩掛

割小端積の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.4 割小端積工歩掛表

(10㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
世 話 役		人	0.7	
石 工		〃	7.0	
普通作業員		〃	6.0	
諸 雑 費		%	2	(注) 3

(注) 1. 仕上り厚90mm、目地幅10mm程度（深目地 3～5mm）の場合である。

2. 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。

3. 諸雑費は、張付けモルタルの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

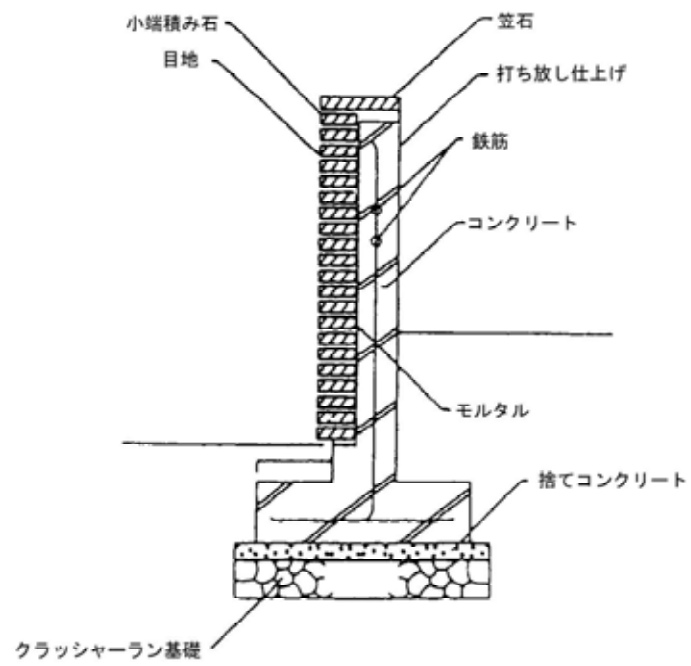
(3)単価表

割小端積10㎡当り単価表（WC691000）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.4
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
小 端 積 石	大きさ300×74mm程度 厚20～35mm程度	㎡	10	
諸 雑 費		式	1	表2.4（注） 3
計				

(注) 掘削等は擁壁本体で計上する。

(参考図)



2-3-3 雑割石—空石積

(1)適用範囲

本資料は、雑割石による空石積に適用する。

(2)施工歩掛

雑割石の裏込栗石を使用して施工する空石積（法勾配1割未満）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.5 雑割石による空石積工歩掛表

(10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
			雑割石	
			控え350mm	
世 話 役		人	0.4	
石 工		〃	1.7	
普通作業員		〃	3.6	
諸 雑 費		%	4	(注) 3

- (注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。
 2. 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 諸雑費は、胴込・裏込栗石（碎石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額として計上する。

表 2.6 雑割石使用量

(10㎡当り)

材 料	単位	数 量
		控え350mm
雑 割 石	個	130

(3)単価表

雑割石による空石積10㎡当り単価表（WC691100）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.5
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
雑 割 石		個		表2.6
諸 雑 費		式	1	表2.5
計				

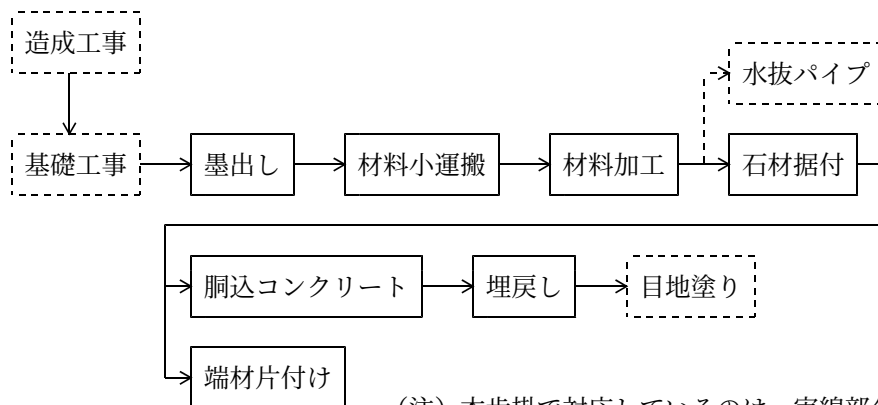
2-3-4 雑割石—練石積

(1) 適用範囲

本資料は、雑割石による練石積に適用する。

(2) 施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3) 施工歩掛

雑割石の胴込コンクリートを使用して施工する練石積（法勾配1割未満）の施工歩掛は次表を標準とする。

① 雑割石による練石積工

表 2.7 雑割石による練石積工歩掛表

(10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
			雑割石	
			控え350mm	
世 話 役		人	0.4	
石 工		〃	1.5	
普通作業員		〃	3.6	

(注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。
 2. 運搬距離は20m程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 原則として空目地とする。目地を塗る場合は別途考慮する。

表 2.8 雑割石使用量

(10㎡当り)

材 料	単位	数 量
		控え350mm
雑 割 石	個	130

② 胴込・裏込コンクリート投入打設

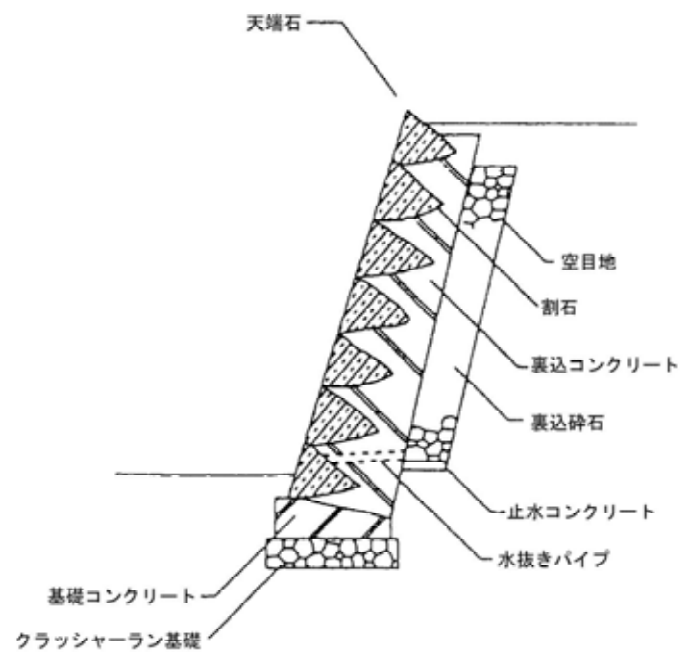
胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「2-3-12 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(4)単価表

雑割石による練石積10㎡当り単価表 (WC691200)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.7
石 工		//		//
普通作業員		//		//
雑 割 石		個		表2.8
諸 雑 費		式	1	
計				

(参考図)



2-3-5 雑割石—空石張

(1)適用範囲

本資料は、雑割石による空石張に適用する。

(2)施工歩掛

雑割石の裏込栗石を使用して施工する空石張（法勾配1割以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.9 雑割石による空石張工歩掛表

(10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
			雑割石	
			控え350mm	
世 話 役		人	0.4	
石 工		〃	1.5	
普通作業員		〃	3.2	
諸 雑 費		%	5	(注) 3

(注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。

2. 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。

3. 諸雑費は、胴込・裏込栗石（碎石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額として計上する。

表 2.10 雑割石使用量

(10㎡当り)

材 料	単位	数 量
		控え350mm
雑 割 石	個	130

(3)単価表

雑割石による空石張10㎡当り単価表（WC691300）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.9
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
雑 割 石		個		表2.10
諸 雑 費		式	1	表2.9
計				

2-3-6 雑割石—練石張

(1)適用範囲

本資料は、雑割石による練石張に適用する。

(2)施工歩掛

雑割石の胴込コンクリートを使用して施工する練石張（法勾配1割以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

①雑割石による練石張工

表 2.11 雑割石による練石張工歩掛表

(10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
			雑割石	
			控え350mm	
世 話 役		人	0.4	
石 工		〃	1.3	
普通作業員		〃	3.2	

(注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。

2. 運搬距離は20m程度の人力による小運搬距離を含む。

表 2.12 雑割石使用量

(10㎡当り)

材 料	単位	数 量
		控え350mm
雑 割 石	個	130

②胴込・裏込コンクリート投入打設

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「2-3-12胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(3)単価表

雑割石による練石張10㎡当り単価表 (WC691400)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.11
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
雑 割 石		個		表2.12
諸 雑 費		式	1	
計				

2-3-7 雑石-空石積

(1)適用範囲

本資料は、雑石による空石積に適用する。

(2)施工歩掛

雑石の裏込栗石を使用して施工する空石積（法勾配1割未満）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.13 雑石による空石積施工歩掛 (10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量			備 考
			雑 石			
			控え 300mm	控え 350mm	控え 400mm	
世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.2	1.3	1.6	
普通作業員		〃	2.8	3.3	3.8	
諸 雑 費		%	3	4	3	(注) 3

- (注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。
2. 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。
3. 諸雑費は、胴込・裏込栗石（碎石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額として計上する。

表 2.14 雑石使用量 (10㎡当り)

材 料	単位	数 量		
		雑 石		
		控え300mm	控え350mm	控え400mm
雑 石	個	210	160	140

(3)単価表

雑石による空石積10㎡当り単価表 (WC691500)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.13
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
雑 石		個		表2.14
諸 雑 費		式	1	表2.13
計				

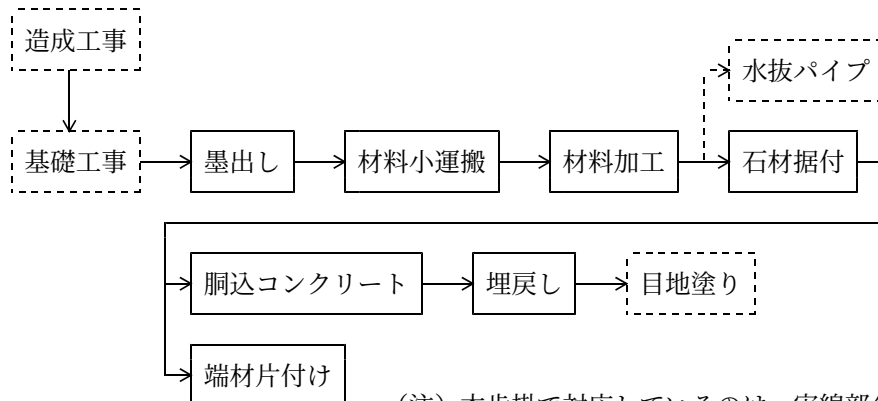
2-3-8 雑石-練石積

(1)適用範囲

本資料は、雑石による練石積に適用する。

(2)施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3)施工歩掛

雑石の胴込コンクリートを使用して施工する練石積（法勾配 1 割未満）の施工歩掛は次表を標準とする。

①雑石による練石積工

表 2.15 雑石による練石積施工歩掛

(10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量			備 考
			雑 石			
			控え300mm	控え350mm	控え400mm	
世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.1	1.2	1.5	
普通作業員		〃	2.8	3.3	3.8	

- (注) 1. 布積み及び谷積みを使用する。
 2. 運搬距離は20m程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 原則として空目地とする。目地を塗る場合は別途考慮する。

表 2.16 雑石使用量

(10㎡当り)

材 料	単 位	数 量		
		雑 石		
		控え300mm	控え350mm	控え400mm
雑 石	個	210	160	140

② 胴込・裏込コンクリート投入打設

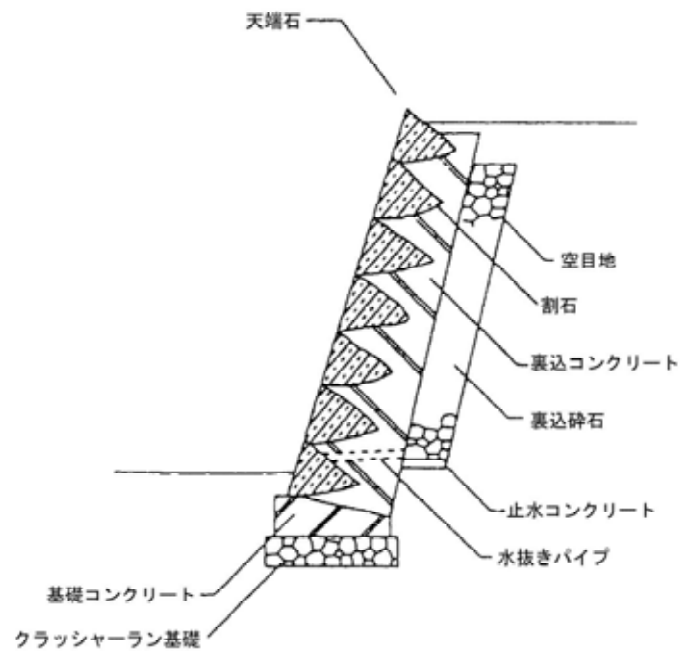
胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「2-3-12 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(4)単価表

雑石による練石積10m²当り単価表 (WC691600)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.15
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
雑 石		個		表2.16
諸 雑 費		式	1	
計				

(参考図)



2-3-9 雑石-空石張

(1)適用範囲

本資料は、雑石による空石張に適用する。

(2)施工歩掛

雑石の裏込栗石を使用して施工する空石張（法勾配1割以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

表 2.17 雑石による空石張工歩掛表 (10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量			備 考
			雑 石			
			控え300mm	控え350mm	控え400mm	
世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.1	1.2	1.5	
普通作業員		〃	2.5	2.9	3.4	
諸 雑 費		%	3	4	4	(注) 3

- (注) 1. 布積み及び谷積に使用する。
 2. 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。
 3. 諸雑費は、胴込・裏込栗石（碎石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 2.18 雑石使用量 (10㎡当り)

材 料	単位	数 量		
		雑 石		
		控え300mm	控え350mm	控え400mm
雑 石	個	210	160	140

(3)単価表

雑石による空石張10㎡当り単価表 (WC691700)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.17
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
雑 石		個		表2.18
諸 雑 費		式	1	表2.17
計				

2-3-10 雑石—練石張

(1)適用範囲

本資料は、雑石による練石張に適用する。

(2)施工歩掛

雑石の胴込コンクリートを使用して施工する練石張（法勾配1割以上）の施工歩掛は次表を標準とする。

①雑石による練石張工

表 2.19 雑石による練石張工歩掛表

(10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量			備 考
			雑 石			
			控え300mm	控え350mm	控え400mm	
世 話 役		人	0.4	0.4	0.4	
石 工		〃	1.0	1.1	1.3	
普通作業員		〃	2.5	2.9	3.4	

(注) 1. 布積み及び谷積みに使用する。

2. 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。

表 2.20 雑石使用量

(10㎡当り)

材 料	単位	数 量		
		雑 石		
		控え300mm	控え350mm	控え400mm
雑 石	個	210	160	140

②胴込・裏込コンクリート投入打設

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「2-3-12 胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(3)単価表

雑石による練石張10㎡当り単価表 (WC691800)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.19
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
雑 石		個		表2.20
諸 雑 費		式	1	
計				

2-3-11 割石積

(1)適用範囲

本資料は、割石にて横目地をきれいに通した石積（法勾配1割未満）で、胴込コンクリートを使用して施工する本布積作業に適用する。

(2)施工歩掛

割石を用いた本布積の施工歩掛は次表を標準とする。

①割石による本布積工

表 2.21 割石による本布積工歩掛表

(10㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
世 話 役		人	0.5	
石 工		〃	3.1	
普通作業員		〃	5.2	

(注) 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。

表 2.22 割石使用量

(10㎡当り)

材 料	単位	数 量
雑 割 石	個	130

②胴込・裏込コンクリート投入打設

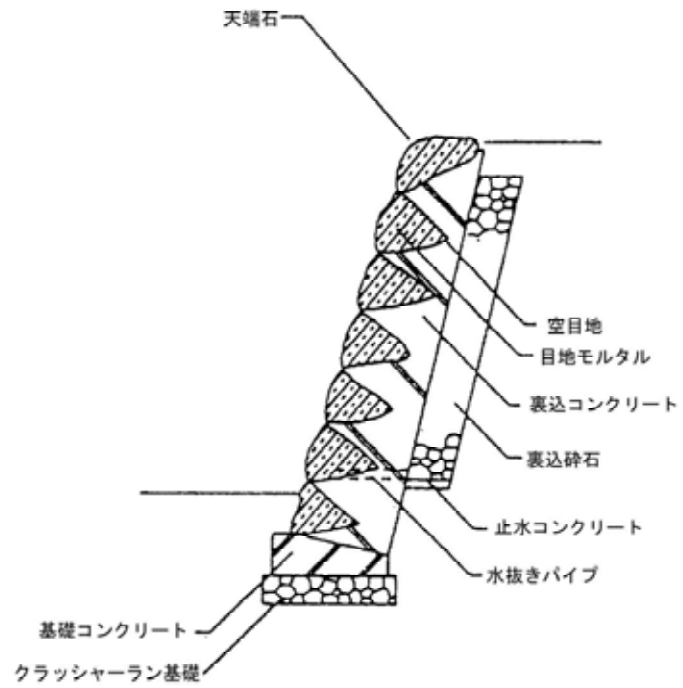
胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛は、「2-3-12胴込・裏込コンクリート投入打設」による。

(3)単価表

割石による本布積10㎡当り単価表 (WC691900)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.21
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
割 石		個		表2.22
諸 雑 費		式	1	
計				

(参考図)



2-3-12 胴込・裏込コンクリート投入打設

(1)適用範囲

本資料は、練石積及び練石張における胴込・裏込コンクリート打設に適用する。

(2)施工歩掛

胴込・裏込コンクリートの投入打設歩掛は次表を標準とする。

胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛

表 2.23 胴込・裏込コンクリート投入打設歩掛表（10m³当り）

名 称	規 格	単位	数 量		備 考
			練石積	練石張	
特殊作業員		人	1.3	1.5	
普通作業員		〃	1.8	1.9	
諸 雑 費		%	12	6	(注) 1
計					

- (注) 1. 諸雑費は、コンクリートバケット損料、パイプレータ損料、型枠等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 2. 運搬距離20m程度の人力による小運搬を含む。
 3. 基礎コンクリート及び天端コンクリートは、「平成22年度国土交通省土木工事積算基準 第5章 コンクリート工」による。
 4. 胴込コンクリート量は、面積に控長の1/2を乗じたものとする。

胴込・裏込コンクリート使用量

胴込・裏込コンクリート使用量は、次式による。

$$\text{使用量 (m}^3\text{)} = \text{設計量} \times (1 + K) \cdots \cdots \text{式 2.1}$$

K：ロス率

表 2.24 ロス率

材 料	ロ ス 率
コンクリート	+0.17

(3)単価表

胴込・裏込コンクリート10m³当り単価表（WB221840）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
特殊作業員		人		表2.23
普通作業員		〃		〃
コンクリート		m ³	11.7	式2.1 表2.24
諸 雑 費		式	1	表2.23
計				

Ⅱ 施設整備

1 給水設備工

1-1 適用範囲

本資料は、公園工事における水栓類取付工、給水管路工に適用する。

1-2 水栓類取付工

(1) 施工歩掛

水栓類取付工の歩掛は次表を標準とする。

表 1.1 水栓類取付歩掛表 (1個当り)

名 称	単位	口 径		
		15	20	25
各 種 水 栓	個	1.0		
配 管 工	人	0.07	0.08	0.09
散水栓(箱共)	個	1.0		
配 管 工	人	0.35	0.35	

(注) 散水栓取付歩掛は散水栓用箱取付歩掛を含む。

(2) 単価表

水栓類取付工 1 個当り単価表 (WB610410)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
各 種 水 栓		個		表1.1
配 管 工		人		〃
散水栓(箱共)		個		〃 必要により計上
配 管 工		人		〃 〃
諸 雑 費		式	1	
計				

1-3 給水管路工

1-3-1 給水管

(1) 施工歩掛

給水用の鋼管及び硬質塩化ビニール管の布設歩掛は次表を標準とする。

① 水道用鋼管布設（人力吊込み布設）

表 1.2 水道用鋼管布設（人力吊込み布設）歩掛表

（100m当り）

内 径 (mm)	屋 外 配 管	屋内配管（給水・排水・通気）
	配管工（人）	配管工（人）
1/2インチ (15)	6.7	10.7
3/4 (20)	7.6	12.0
1 (25)	9.3	14.8
1・1/4 (32)	11.4	18.1
1・1/2 (40)	12.5	19.9
2 (50)	15.7	25.0
2・1/2 (65)	20.5	32.5
3 (80)	23.2	36.8
4 (100)	30.3	48.1
5 (125)	35.9	56.9
6 (150)	43.6	69.2

（注） 1. 本表の屋内工事の歩掛は、高架（高置）水そう等の配管に適用する。

2. 屋外配管

(1) ねじ立て接合、弁取付け（制水弁を除く）、小運搬及び水圧試験を含む。

(2) 床掘及び埋戻しは、含まない。

3. 屋内配管

(1) ねじ立て接合、支持金物取付け、弁取付け、小運搬及び水圧試験を含む。

4. 本表の小運搬の距離は、20m程度とする。

5. 材料の割増率は屋外5%、屋内10%とする。

表 1.3 継手材料

	屋 外	屋 内
塩化ビニルライニング鋼管	材料費の35%	材料費の90%
水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管	材料費の55%	材料費の110%

②水道用硬質塩化ビニル管布設（屋外給水用）

表 1.4 水道用硬質塩化ビニル管布設（屋外給水用）歩掛（1m当り）

内 径 (mm)	配 管 工 (人)
15	0.032
20	0.043
25	0.052
30	0.055
40	0.071
50	0.090
65	0.114
75	0.133

(注) 1. 本表は、接合、小運搬及び水圧試験を含むが、土工
工事は含まない。

2. 本表の小運搬の距離は、約20mとする。

3. 材料の割増率は5%とする。弁材料は別途計上する。

表 1.5 継手材料

	屋 外	屋 内
硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 継 手	材料費の25%	材料費の55%

(2)単価表

①水道用鋼管布設100m当り単価表（WB610390）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
配 管 工		人		表1.2
水 道 用 鋼 管		m		必要に応じ継手材料含む 表1.2, 表1.3
諸 雑 費		式	1	
計				

②水道用硬質塩化ビニル管布設100m当り布設単価表（WB610400）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
配 管 工		人		表1.4
水 道 用 硬 質 塩化ビニル管		m		必要に応じ継手材料含む 表1.4, 表1.5
諸 雑 費		式	1	
計				

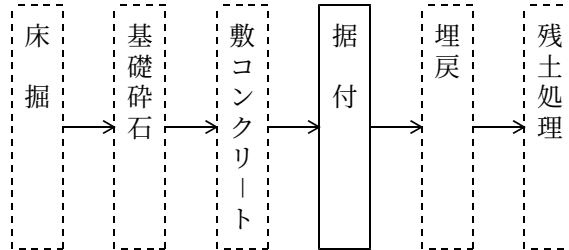
2 雨水排水設備工

2-1 適用範囲

本資料は、公園工事における側溝工、管渠工、集水桝・マンホール工、地下排水工に適用する。

2-2 施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



2-3 側溝工

2-3-1 L型側溝及びV型側溝

(1) 施工歩掛

L型側溝及びV型側溝の据付歩掛は次表を標準とする。

表 2.1 L型側溝及びV型側溝据付歩掛表

(10m当り)

1個当たり長さ (m)			0.6m/個	備 考
名 称	規 格	単位	数 量	
世 話 役		人	0.3	
特殊作業員		〃	0.1	
普通作業員		〃	0.9	
バックホウ (クレーン機能付) 運転	排出ガス対策型クローラ型山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 2.9t吊	h	1.2	
基礎碎石費		%	22	(注) 3
諸 雑 費		%	12	〃

- (注) 1. 歩掛は、運搬距離30m程度までの小運搬を含むものであり、床掘、埋戻し、残土処理は含まない。
2. バックホウ（クレーン機能追加）の規格は、排出ガス対策型（第1次基準値）・クローラ型山積0.45m³（平積0.35m³）2.9t吊りとする。
3. 基礎碎石費及び諸雑費は、労務費及びバックホウ（クレーン機能付）運転経費の合計額に、上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、基礎碎石費及び諸雑費に含まれる内容は次のとおりである。
- 〔基礎碎石費〕敷設・転圧労務、材料投入・締固め機械運転経費、碎石等材料費
- 〔諸雑費〕コンクリートカッタ運転、目地モルタル、敷モルタル、L型側溝損失分の費用、カッタブレードの損耗費等
4. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。
5. 基礎碎石費は、材料の種別・規格にかかわらず適用できる。
6. 再使用する場合の撤去歩掛は、布設歩掛（基礎碎石費率、諸雑費は除く）の50%とする。
7. コンクリートが必要な場合は、「平成23年度国土交通省土木工事積算基準 第5章 コンクリート工」による。

(2)単価表

L型側溝及びV型側溝布設10m当り単価表 (WC698500)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表2.1
特 殊 作 業 員		//		//
普 通 作 業 員		//		//
○型ブロック		個	16.5	10m÷0.6m/個
バックホウ (クレーン機能付) 運 転	排出ガス対策型 クローラ型山積 0.45m ³ (平積0.35m ³)2.9t 吊	h		表2.1
基 礎 砕 石 費		式	1	// 必要に応じて計上
諸 雑 費		//	1	//
計				

2-4 管渠工

2-4-1 公園管渠

(1)施工歩掛

硬質塩化ビニル管の布設歩掛は次表を標準とする。

①硬質塩化ビニル管布設 (JSWAS K-1)

表 2.2 硬質塩化ビニル管布設歩掛表

(100m当り)

管 径 (呼び径) (mm)	管 長 (m)	労 務 歩 掛		材 料	
		特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	接 着 剤 (kg)	滑 材 (kg)
100	4.0	2.30	4.30	0.40	0.30
125	4.0	2.50	4.80	0.50	0.40
150	4.0	2.80	5.10	0.80	0.50
200	4.0	3.10	6.30	1.40	0.60
250	4.0	3.30	7.50	2.30	0.90

- (注) 1. 本労務歩掛は、接着受口、ゴム輪受口いずれも同一とする。
2. 本歩掛は管の接合、据付け作業一式及び材料小運搬を含む。
3. 小運搬距離は、20m程度とする。
4. 管の切断ロス等による割増率は1%とする。
5. 接着剤は、接着受口管の場合に計上し、滑材はゴム輪受口管の場合に計上する。
6. 卵形管の呼び径100mm～250mmの布設歩掛は本歩掛（材料も含む。）と同一とする。

(2)単価表

硬質塩化ビニル管布設100m当り単価表 (WB610370)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
普 通 作 業 員		人		表2.2
特 殊 作 業 員		〃		〃
硬質塩化ビニル管	VU-100	m		〃
接 着 剤		kg		〃
滑 材		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

2-5 集水桝・マンホール工

(1)施工歩掛

人孔用コンクリートブロック、蓋、足掛金物の据付歩掛は次表を標準とする。

表 2.3 人孔用コンクリートブロック等据付歩掛表 (1個、1組、1本当り)

名 称	規 格	単位	斜 壁 等 直 壁 等 スラブ(各種) 据 付	蓋(受枠共) 及び 調 整 コンクリートブロック 据 付	足 掛 金 物
世 話 役		人	0.10	0.13 (0.08)	—
特 殊 作 業 員		〃	0.10	0.13 (0.08)	0.07
普 通 作 業 員		〃	0.20	0.26 (0.16)	0.07
トラックレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	0.10	0.13 (0.08)	—
諸 雑 費		%	3	6 (5)	—

- (注) 1. 斜壁、直壁等、スラブ(各種)、蓋(受枠とも)、調整コンクリートブロック据付の諸雑費は、モルタル工(配合1:2、敷圧1cm)等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
2. 調整コンクリートブロックを使用しない場合には、()内の値を計上する。
3. 高流動性無収縮超早強モルタル及び受枠変形防止調整金具を使用する場合は別途計上する。
4. 蓋・受枠を仮据付けする場合、及び据付けの箇所を本据付けにする場合は、労力及びトラックレーン賃料は歩掛の50%とし、その歩掛に対し諸雑費を計上する。
5. 足掛金物取付については、側壁に削孔して足掛金物を取付ける場合に適用する。

(2)単価表

①斜壁、直壁、スラブ（各種）据付 1 個当り単価表（WC692100）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
人孔用ブロック		個	1	
世 話 役		人		表2.3
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

②蓋（受枠とも）及び調整コンクリートブロック据付 1 組当り単価表（WC692300）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
蓋 及び 調整コンクリートブロック	（受枠共）	組	1	
世 話 役		人		表2.3
特 殊 作 業 員		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン賃料	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	日		〃
諸 雑 費		式	1	〃
計				

③足掛金物据付 1 本当り単価表（WC692400）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
足 掛 金 物		本	1	
特 殊 作 業 員		人		表2.3
普 通 作 業 員		人		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

2-6 地下排水工

2-6-1 透水コンクリート管

(1) 施工歩掛

透水コンクリート管の布設歩掛は次表を標準とする。

表 2.4 透水コンクリート管布設歩掛表 (100m当り)

職 種 管 径 (mm)	普 通 作 業 員 (人)
50	2.00
100	3.00
150	5.00
200	6.00

(注) 1. 労務歩掛は、管布設材料及び小運搬作業 (20m程度) 一式を含む。

2. ロスによる割増しは、行なわない。

(2) 単価表

透水コンクリート管布設100m当り単価表 (WB610380)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
普 通 作 業 員		人		表2.4
透水コンクリート管		m	100	
諸 雑 費		式	1	
計				

3 汚水排水設備工

3-1 適用範囲

汚水排水設備工については、構造・施工手順が雨水排水と同じであることから、雨水排水設備工によるものとする。

3-2 汚水桝・マンホール工

3-2-1 インバート上塗り

(1) 施工歩掛

インバート上塗りは次表を標準とする。

表 3.1 インバート上塗り歩掛表 (1㎡当り)

職 種	歩掛 (人)
左 官	0.38
普 通 作 業 員	0.36

(注) 上塗モルタル厚は、10～30mmとする。

(2) 単価表

インバート上塗り 1㎡当り単価表 (WC692600)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	1:2	㎥		
左 官		人		表3.1
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

4 園路広場整備工

4-1 適用範囲

本資料は、公園工事におけるコンクリート系舗装等の舗装工、園路縁石工に適用する。

4-2 コンクリート系舗装工

4-2-1 公園コンクリート舗装

(1) 施工歩掛

公園コンクリート舗装の伸縮目地施工歩掛は次表を標準とする。

表 4.1 伸縮目地（板材）A 施工歩掛表 (100㎡当り)

名 称	規 格	単位	数 量	備 考
杉 板	1 等厚 9 mm	m ³	0.9	
世 話 役		人	1.0	
型 枠 工		〃	10.0	
普 通 作 業 員		〃	4.0	

(2) 単価表

伸縮目地（A）100㎡当り単価表（WC693300）

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
杉 板	1 等厚 9 mm	m ³		表4.1
世 話 役		人		〃
型 枠 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

4-3 土系舗装工

4-3-1 混合

(1)適用範囲

本資料は、土舗装における舗装材の混合に適用する。

(2)混合用機械

混合用のトラクターの作業量の算定は下記による。

機種：トラクター 1.0t級

$$A = \frac{W \times V \times E}{P} \quad (\text{m}^2/\text{h r})$$

A：運転1時間当たりの作業量 (m²/hr)

W：平均混合幅 (m)

V：混合速度 (m/h r)

E：作業効率

P：混合回数 3回を標準とする。

表 4.2 トラクター作業効率 (1)

土 質	E
砂、砂質土	0.8
粘性土・れきまじり土	0.7

(注) 1. P：混合回数は、3回を標準とする。
2. 平均耕うん深さは20cm程度。

表 4.3 トラクター作業効率 (2)

機 械 名	規 格	数 量		備 考
		W (m)	V (m/hr)	
トラクター	1.0t級	1.60	1,460	

(3)トラクター作業歩掛

表 4.4 トラクター作業歩掛

(100m²当り)

名 称	規 格	単位	数 量		備 考
			粘性土・れきまじり土	砂・砂質土	
トラクター	1.0t級	//	0.18	0.16	

(4)トラクター運転歩掛

表 4.5 トラクター運転歩掛 (1時間当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
軽 油		l	2.6	
特 殊 作 業 員		人	0.2	
機 械 損 料		h	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

4-4 レンガ・タイル系舗装工

4-4-1 レンガ舗装

(1)施工歩掛

レンガ舗装の施工歩掛は次表を標準とする。

①レンガ舗装工

表 4.6 レンガ舗装工歩掛表 (100㎡当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量		備 考
			A(平敷き)	B(小端立て敷き)	
普 通 レ ン ガ	J I S 3種 210×100×60	枚	4,338	6,817	
ブ ロ ッ ク 工		人	9.9	17.7	据付手間
普 通 作 業 員		〃	6.6	11.0	同上手伝い、 小運搬

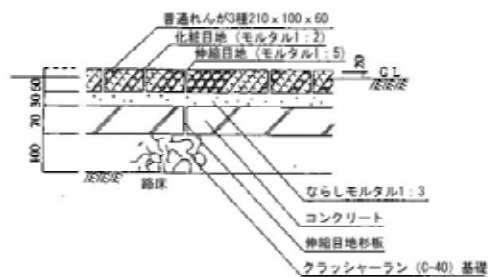
(注) 1. モルタル等は材料費のみ別途計上する。(伸縮目地は、@5.0mを標準とする)
 2. 舗装材料の小運搬は、運搬距離20m程度とする。

(2)単価表

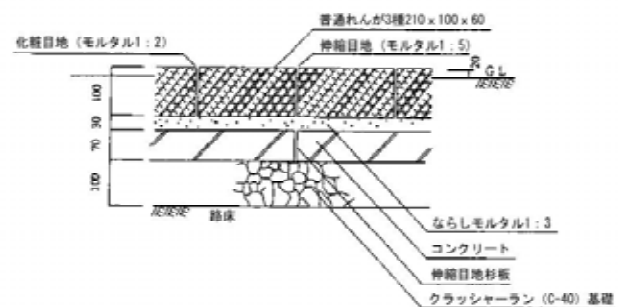
レンガ舗装工100㎡当り単価表(WB610350)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
普 通 レ ン ガ	J I S 3種 210×100×60	枚		表4.6
ブ ロ ッ ク 工		人		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(参考図)



A 平敷き



B 小端立て敷き

4-5 石材系舗装工

4-5-1 ごろた石張舗装

(1) 施工歩掛

ごろた石張舗装の施工歩掛は次表を標準とする。

① ごろた石張舗装工

表 4.7 野面ごろた石舗装工歩掛表

(100㎡当り)

名 称	単位	数 量	備 考
世 話 役	人	1.1	
石 工	〃	13.8	
普通作業員	〃	13.1	
諸 雑 費	%	18	(注) 2

(注) 1. 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。

2. 諸雑費は、据付けモルタルの費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4.8 野面ごろた石使用量

(100㎡当り)

材 料	規 格	単 位	数 量
野面ごろた石	φ100～200	個	4,400

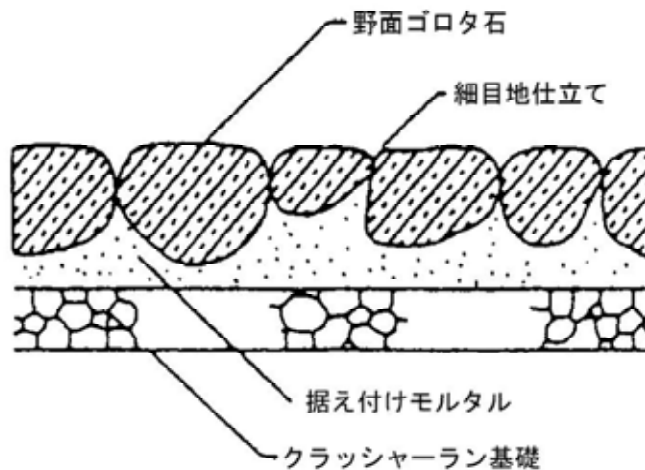
(注) 1. 本表の野面ごろた石の数量は、標準的な野面ごろた石舗装工に使用し、特殊な形状、施工方法等の場合は別途考慮する。

(2)単価表

ごろた石舗装工100㎡当り単価表（WC694200）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表4.7
石 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
ご ろ た 石	φ100～200	個		表4.8
諸 雑 費		式	1	表4.7
計				

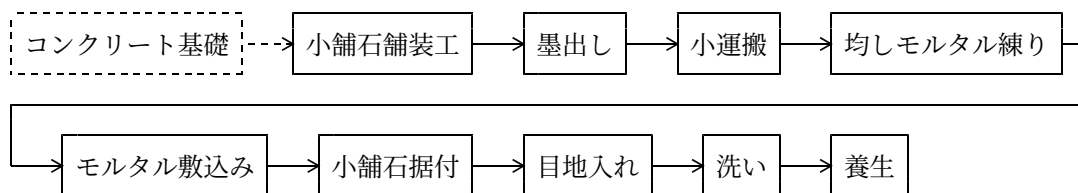
(参考図)



4-5-2 小舗石舗装

(1)施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
基礎コンクリート、クラッシャーラン基礎については、別途計上する。

(2)施工歩掛

小舗石舗装の施工歩掛は次表を標準とする。

①小舗石舗装工

表 4.9 小舗石舗装工歩掛表

(100㎡当り)

名 称	単位	数 量	備 考
世 話 役	人	2.5	
石 工	〃	25.6	
普通作業員	〃	9.6	
諸 雑 費	%	7	(注) 2

(注) 1. 運搬距離20m程度の人力による小運搬距離を含む。

2. 諸雑費は、目地モルタル、均しモルタル費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4.10 小舗石使用量

(100㎡当り)

材 料	規 格	単 位	数 量
小 舗 石	90mm×90mm×90mm	個	10,000

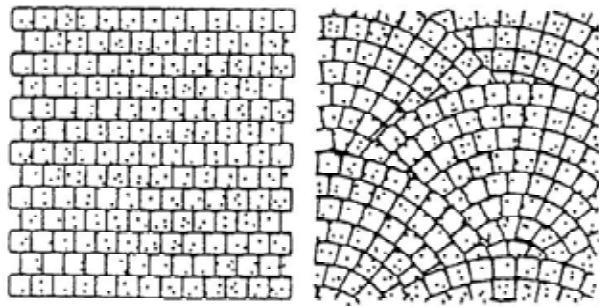
(注) 1. 本表の小舗石数量は標準的な小舗石舗装工に適用し、特殊な形状、施工方法等の場合においては別途考慮する。

(3)単価表

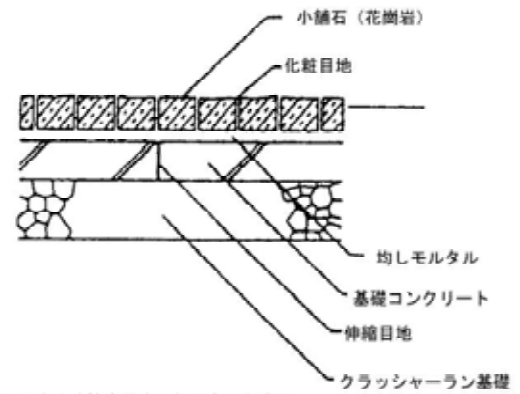
小舗石舗装工100㎡当り単価表 (WC699000)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表4.9
石 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
小 舗 石		個		表4.10
諸 雑 費		式	1	表4.9
計				

(参考図)



平 面 図



注 必要に応じ溶接金網を入れるものとする。

4-6 園路縁石工

4-6-1 レンガ縁石

(1) 施工歩掛

レンガ縁石の据付歩掛は次表を標準とする。

表 4.11 レンガ縁石据付歩掛表

(100m当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量					備 考
			A	B	C	D	E	
普通レンガ	J I S 3種 210×100×60	個	477	1500	1500	955	955	ロス5% 含む
目地モルタル	1 : 3	m ³	0.02	0.3	0.3	0.2	0.2	
ブロック工		人	1.8	6.0	6.0	3.8	3.8	据付け
普通作業員		〃	0.3	1.1	1.1	0.7	0.7	手伝い

(注) 1. 基礎は別途計上する。

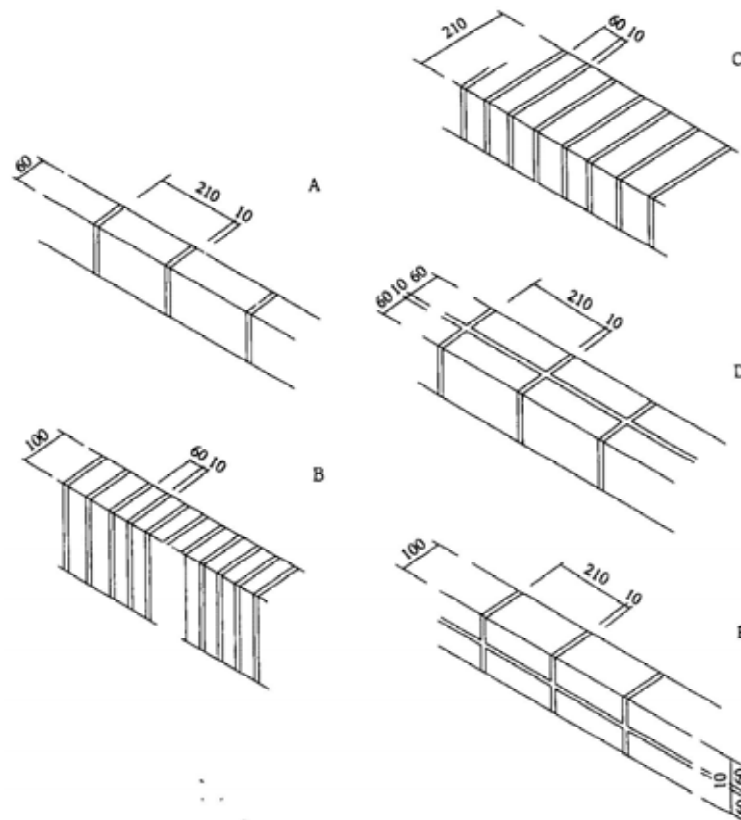
2. レンガ等の小運搬は、運搬距離20m程度とする。

(2)単価表

レンガ縁石100m当り単価表 (WB610360)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
普 通 レ ン ガ	J I S 3 種 210×100×60	個		表4.11
目地モルタル	1 : 3	m ³		//
ブ ロ ッ ク 工		人		//
普 通 作 業 員		//		//
諸 雑 費		式	1	
計				

(参考図)



目地は、化粧目地とし、
幅10mm、深さ3～5mmとする。

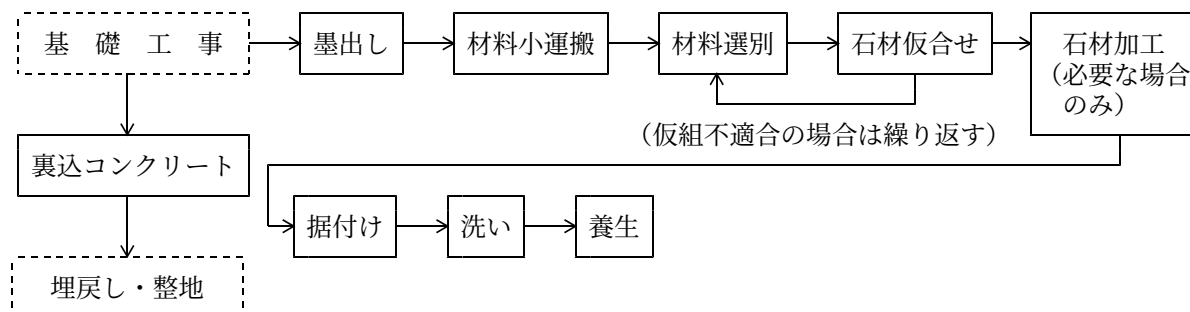
4-6-2 石材縁石

(1)適用範囲

本資料は、公園工事における野面ごろた石、玉石、雑割石、切石の縁石工に適用する。

(2)施工フロー

施工フローは下図の通りとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(3)施工歩掛

石材縁石の据付歩掛は次表を標準とする。

表 4.12 石材縁石据付歩掛表

(10m当り)

名 称	単位	数 量				備 考
		野 面 ごろた石	玉 石	雑割石	切 石	
世 話 役	人	0.11	0.12	0.23	0.20	
石 工	"	0.35	0.47	0.87	0.52	
普通作業員	"	0.67	0.79	1.16	0.78	
諸 雑 費	%	7	5	20	3	(注) 2

(注) 1. 運搬距離20m程度の人力による小運搬を含む。

2. 諸雑費は、コンクリート（雑割石）、張付モルタル（切石・玉石・野面ごろた石）の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4.13 石材使用量

(10m当り)

材 料	規 格	単 位	数 量
野面ごろた石	φ100～φ200mm	個	66.0
玉 石	φ200～φ300mm	"	40.0
雑 割 石	控え 350mm程度	"	30.0
切 石	150×150×600mm ～300×300×900mm	"	14.3

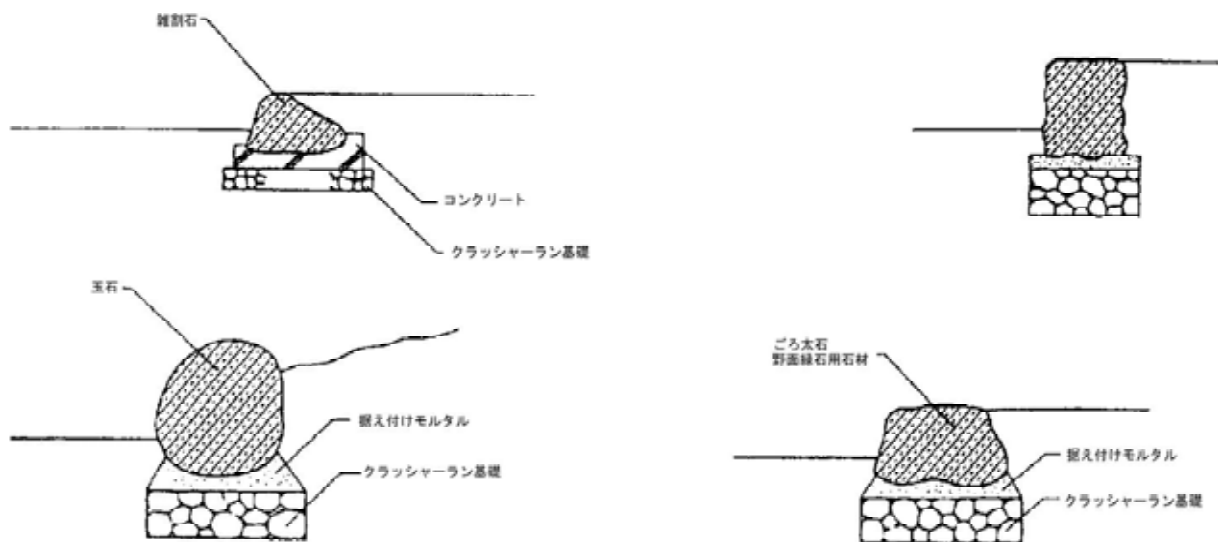
(注) 1. 石材の使用量は、次表を標準とするが、特殊な形状、施工方法等の場合においては、別途考慮する。

(4)単価表

〇〇石縁石10m当り単価表（WC694300）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表4.12
石 工		//		//
普通作業員		//		//
石 材		個		表4.13
計				

(参考図)



5 修景施設整備工

5-1 適用範囲

本資料は、公園工事における石組工に適用する。

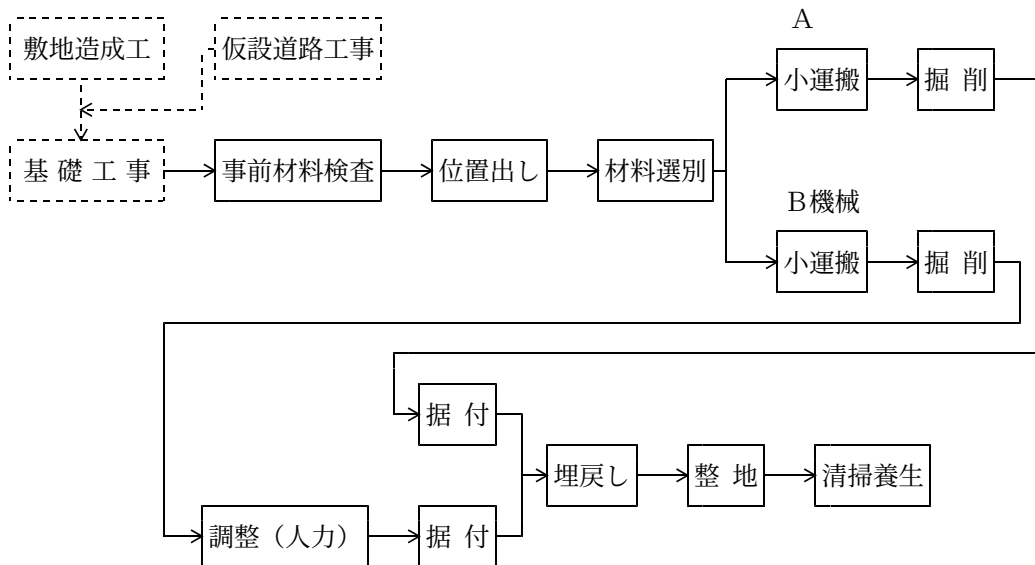
5-2 石組工

5-2-1 石組・景石

(1) 施工フロー

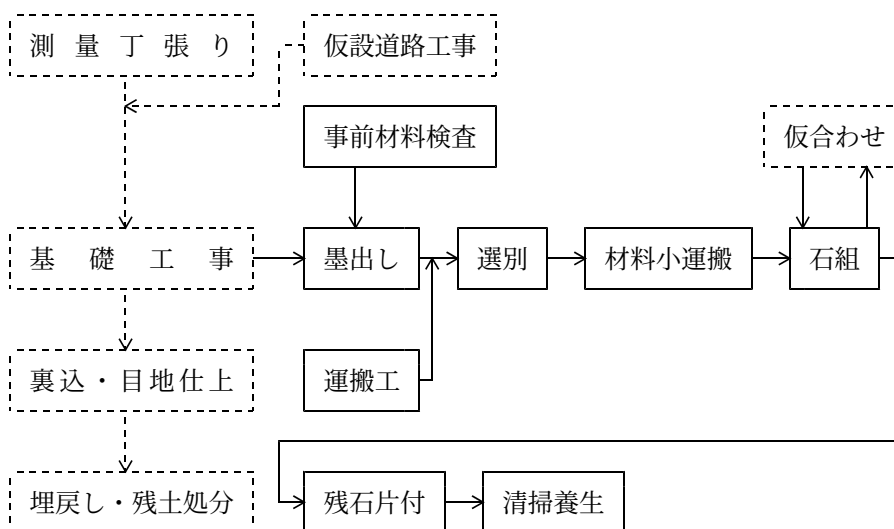
施工フローは下図の通りとする。（下記は一例であり、現場条件により大きく変化する。）

① 景石工



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

② 石組工



（注）本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(2) 施工歩掛

人力及び機械施工による石組工の施工歩掛は次表を標準とする。

① 景石規格と実重量

石組工の積算に用いる景石の規格と実重量は次表を標準とする。

表 5.1 景石規格と実重量

景石規格 (t/個)	景石実重量	景石規格 (t/個)	景石実重量
0.5	～ 0.75 t 以下	2.0	1.75 t 超え～ 2.5 t 以下
1.0	0.75 t 超え～ 1.25 t 以下	3.0	2.5 t 超え～ 3.5 t 以下
1.5	1.25 t 超え～ 1.75 t 以下	4.0	3.5 t 超え～ 4.5 t 以下

② 機種を選定

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 5.2 機種を選定

機械名	規 格	景石規格 (t/個)					
		0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
トラック	クレーン装置付4t積2.9t吊り	○					—
トラッククレーン	油圧式 4.9t吊り	—					○

(注) 1. 現場条件により、本表により難しい場合は現場条件に適した機種規格を計上することができる。

③ 石組・景石据付（捨石工）歩掛

機械施工による場合の機種は次表を標準とする。

表 5.3 石組・景石据付（捨石工）歩掛表 (1t 当り)

名 称	単位	石 組 工		景 石 (捨石工)	
		機械施工	人力施工	機械施工	人力施工
世 話 役	人	0.03	0.14	0.02	0.07
造 園 工	〃	0.8	1.3	0.6	1.0
普 通 作 業 員	〃	0.26	1.10	0.17	0.9

(注) 1. 土ぎめ据付とする。

2. 石組工については標準的な石組に適用し、滝石組等、特殊な石組については別途考慮する。

④石組機械運転歩掛

石組に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 5.4 石組機械運転歩掛表

(1 t 当り)

機 械 名	規 格	単位	景石規格 (t /個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト ラ ッ ク	クレーン装置付4t積2.9t吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
トラッククレーン 運転	油 圧 式 4 . 9 t 吊 り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個 日	29.4	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

⑤景石据付（捨石工）機械運転歩掛

景石据付（捨石工）に用いる機械の運転歩掛は次表を標準とする。

表 5.5 景石据付（捨石工）機械運転歩掛表

(1 t 当り)

機 械 名	規 格	単位	景石規格 (t /個)					
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	4.0
ト ラ ッ ク	クレーン装置付4t積2.9t吊り	h	0.38	0.23	0.17	0.16	—	—
トラッククレーン 運転	油 圧 式 4 . 9 t 吊 り	日	—	—	—	—	0.028	0.028
標準日当り据付個数		個 日	29.0	24.0	20.0	16.7	11.7	8.8

(注) トラッククレーンは、賃料とする。

(3)単価表

①石組 1 t 当り単価表 (WC694800)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表5.3
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン 運 転 ・ 賃 料		h・日		表5.4
景 石		t	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

②景石（捨石工） 1 t 当り単価表（WC694900）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表5.3
造 園 工		〃		〃
普 通 作 業 員		〃		〃
トラッククレーン 運 転 ・ 賃 料		h・日		表5.5
景 石		t	1	
諸 雑 費		式	1	
計				

6 サービス施設整備工

6-1 適用範囲

本資料は、公園工事におけるベンチ・スツールの据付に適用する。

6-2 ベンチ・テーブル工

6-2-1 ベンチ・スツール

(1) 施工歩掛

ベンチ・スツールの据付歩掛は次表を標準とする。

表 6.1 ベンチ据付歩掛表

(10基当り)

名 称 \ 重 量	20kg未満		20kg以上 30kg未満		30kg以上 40kg未満		40kg以上 50kg未満		50kg以上		材 質
	特殊	普通	特殊	普通	特殊	普通	特殊	普通	特殊	普通	
ス ツ ー ル	0.10	0.40	0.15	0.60	—	—	—	—	—	—	磁器製、木製等
背なしベンチ	—	—	0.24	0.96	0.28	1.12	0.32	1.28	—	—	木製、FRP製、 硬質塩化ビニル製、 鋳鉄製、ハ°イ°製等
背付きベンチ	—	—	0.28	1.12	0.34	1.36	0.40	1.60	0.46	1.84	

- (注) 1. 特殊・普通は、特殊作業員・普通作業員を表す。
2. 石材、コンクリート製等については別途計上する。

(2) 単価表

ベンチ据付10基当り単価表 (WB610420)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ベ ン チ		基		
特 殊 作 業 員		人		表6.1
普 通 作 業 員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

7 管理施設整備工

7-1 適用範囲

本資料は、公園工事における高さ2m以下、支柱間隔2mの人力建込みによる柵工のうちフェンス（金網柵）の設置・撤去・再利用設置に適用する。

7-2 柵工

1 管理施設整備工1-1 適用範囲及び1-2柵工は「平成24年度版国土交通省土木工事積算基準」第4編施工パッケージ型積算基準7章道路附属施設①立入り防止柵工による。

〈参 考〉 「平成24年度版国土交通省土木工事積算基準」（抜粋）

第4編施工パッケージ型積算基準

7章道路附属施設

①立入り防止柵工

1. 適用範囲

本資料は、柵高2m以下、支柱間隔2mの人力建込みによる立入り防止柵のうち金網柵の設置・撤去・再利用設置に適用する。

金網（フェンス）と支柱を設置・撤去・再利用設置する場合は施工パッケージを適用する。

支柱のみを設置・撤去・再利用設置する場合は歩掛を適用する。

2. 施工パッケージ

2-1 基礎ブロック（立入防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入防止柵）

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表7.1 積算条件区分一覧

（基礎ブロック 積算単位：個）

（金網（フェンス）・支柱 積算単位：m）

作業区分
設置
撤去
再利用設置

（注）1. 設置の場合（材料込みの新設設置）

- ・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵（柵高2m以下、支柱間隔2m）のプレキャスト基礎ブロックの設置、支柱設置、金網設置（胴縁取付・金網張立）、作業土工（床掘り・埋戻し）、充填材（モルタル）の混練及び打設等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 撤去の場合

- ・管理施設等への立入を防止するために行う金網柵（柵高2m以下、支柱間隔2m）のプレキャスト基礎ブロックの撤去、支柱撤去、金網撤去等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

3. 再利用設置（設置手間のみの流用品・支給品等使用）の場合

- ・（注）1の設置費のみを含む（基礎ブロック本体の材料費及び支柱本体の材料費は含まない）。
- ・撤去に要する費用は含まない。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている代表的な規格である。

表7.2 基礎ブロック（立入防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入防止柵） 代表機労材規格一覧

名 称	項 目	代表機労材規格	備 考
基礎ブロック （立入防止柵）	機械	K1	—
		K2	—
		K3	—
	労務	R1	普通作業員
		R2	土木一般世話役
		R3	—
		R4	—
	材料	Z1	基礎ブロック フェンス用ブロック 18×55×45(cm)
		Z2	—
		Z3	—
		Z4	—
	市場単価	S	—
金網（フェンス）・ 支柱（立入防止柵）	機械	K1	—
		K2	—
		K3	—
	労務	R1	普通作業員
		R2	土木一般世話役
		R3	—
		R4	—
	材料	Z1	金網柵 H2000 アングル型 ビニル被覆 -GS2 3.2×50
		Z2	—
		Z3	—
		Z4	—
	市場単価	S	—

3. 施 工 歩 掛

3-1 支柱設置歩掛

支柱設置（建込み）歩掛は、次表を標準とする。

表7.3 支柱設置歩掛

(人／100 本)

名 称	規 格	単 位	数 量
世 話 役		人	0.8
普 通 作 業 員		〃	4.6
諸 雑 費 率		% 〃	6

- (注) 1. 上表は、支柱の設置（建込み）、充填材（モルタル）の混練及び打設を含む。
2. 諸雑費は充填材（モルタル）等の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
3. 撤去する場合は、上表歩掛の50%とする。

4. 単 価 表

(1) 支柱設置100本当り単価表 (WB420830)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表3.1
普 通 作 業 員		〃		〃
支 柱		本	100	
諸 雑 費		式	1	表3.1
計				

8 施設仕上げ工

8-1 適用範囲

本資料は、公園施設の仕上げ工に伴う各種仕上げに適用する。
仕上げ工については、関連する他の工種においても適用できる。

8-2 加工仕上げ工

8-2-1 コンクリート加工仕上げ

(1) 施工歩掛

コンクリートはつり、つつき仕上げ工歩掛は、次表を標準とする。

表 8.1 コンクリートはつり、つつき仕上げ工歩掛表 (1㎡当り)

名 称	労 務	単位	数 量	備 考
コンクリートはつり仕上げ	石 工	人	0.38	
コンクリートつつき仕上げ	石 工	人	0.25	

(注) 1. はつり仕上げ：一般に、のみ、たがねを用いてコンクリート面を削る作業をいう。切削深さはおおむね5～10mmである。

2. つつき仕上げ：主として、トンボ又はこれに類する工具を用いてコンクリート面をつつく作業をいう。切削深さはおおむね3～5mmである。

(2) 単価表

コンクリートはつり、つつき仕上げ 1㎡当り単価表 (WB610340)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
石 工		人		表8.1
諸 雑 費		式	1	
計				

8-3 左官仕上げ工

8-3-1 モルタル練工

(1) 施工歩掛

モルタル練りの配合及び労務歩掛は、次表を標準とする。

表 8.2 モルタル練標準歩掛表

(1m³当り)

配 合 比	セメント (kg)	砂 (m ³)	普通作業員 (人)
1 : 1	1,100	0.75	1.5
1 : 2	720	0.95	1.3
1 : 3	530	1.05	1.1

- (注) 1. 本表の材料はロスを考慮した数字である。
 2. 本表は材料小運搬及び練合せを含む。
 3. 本表は目地等の仕上げは含まれていない。
 4. 本表は通常の養生費を含む。

(2) 単価表

モルタル練 1m³当り単価表 (WC695600)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セメント		kg		表8.2
砂		m ³		〃
普通作業員		人		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

8-3-2 化粧目地切

(1) 施工歩掛

化粧目地切の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 8.3 化粧目地切歩掛表

(1m当り)

名 称	労 務	単位	数 量	備 考
目地切り (床)	左官工	人	0.01	
〃 (壁)	〃	〃	0.015	

(2)単価表

化粧目地切(床)(壁) 1 m当り単価表 (WC695800)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
左 官 工	床又は壁	人		表8.3
諸 雑 費		式	1	
計				

8-3-3 コンクリート仕上げ

(1)施工歩掛

コンクリートハケ引き仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

表 8.4 コンクリートハケ引き仕上げ歩掛表

(1 m²当り)

名 称	労 務	単位	数 量	備 考
コンクリートハケ引き仕上げ	左官工	人	0.017	

(2)単価表

コンクリートハケ引仕上げ 1 m²当り単価表 (WC696000)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
左 官 工		人		表8.4
諸 雑 費		式	1	
計				

8-3-4 モルタル仕上げ

(1)施工歩掛

モルタル金ゴテ仕上げ、ハケ引き仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

①モルタル金ゴテ仕上げ

表 8.5 モルタル金ゴテ仕上げ歩掛表

(1 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 2	m ³	0.02	—	—	
〃	1 : 3	〃	—	0.02	0.02	
左 官 工		人	0.048	0.15	0.225	
普通作業員		〃	0.006	0.018	0.027	

②モルタルハケ引き仕上げ

表 8.6 モルタルハケ引き仕上げ歩掛表

(1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 2	m ³	0.02	—	—	
〃	1 : 3	〃	—	0.02	0.02	
左 官 工		人	0.038	0.12	0.18	
普通作業員		〃	0.006	0.018	0.027	

③防水モルタル塗り

表 8.7 防水モルタル塗り歩掛表

(1㎡当り)

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
モ ル タ ル	1 : 2	m ³	0.02	0.02	0.02	
防 水 剤		kg	0.6	0.6	0.6	
左 官 工		人	0.048	0.15	0.225	
普通作業員		〃	0.006	0.018	0.027	

(2)単価表

①モルタル金ゴテ仕上げ(床)(壁)(特殊) 1㎡当り単価表 (WC696100)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	○ : ○	m ³		表8.5
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

②モルタルハケ引き仕上げ(床)(壁)(特殊) 1 m²当り単価表 (WC696200)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	○：○	m ³		表8.6
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

③防水モルタル塗り(床)(壁)(特殊) 1 m²当り単価表 (WC696300)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
モ ル タ ル	○：○	m ³		表8.7
防 水 剤		kg		〃
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		
諸 雑 費		式	1	
計				

8-3-5 人造石仕上げ

(1) 施工歩掛

人造石の研ぎ出し仕上げ、洗い出し仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

① 人造石研ぎ出し仕上げ

表 8.8 人造石研ぎ出し仕上げ歩掛表（仕上厚 2 cm）

（1 m²当り）

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
セメント		kg	7.28	8.56	8.56	
白セメント		〃	6.48	6.48	6.48	
砂	洗い細目	m ³	0.015	0.015	0.015	
種 石		kg	12.3	12.3	12.3	
顔 料		〃	0.20	0.20	0.20	
左 官 工		人	0.25	0.36	0.54	
普通作業員		〃	0.08	0.095	0.14	

（注）上記の区分は下記による。

床：舗装、基礎等に係る左官工事

壁：ウォール、砂場、階段等に係る左官工事

特殊：すべり台、水飲み、石の山等に係る左官工事

② 人造石洗い出し仕上げ

表 8.9 人造石洗い出し仕上げ歩掛表（仕上厚 2 cm）

（1 m²当り）

名 称	規 格	単 位	数 量			備 考
			床	壁	特 殊	
セメント		kg	7.28	8.56	8.56	
白セメント		〃	6.48	6.48	6.48	
砂	洗い細目	m ³	0.015	0.015	0.015	
種 石		kg	12.3	12.3	12.3	
顔 料		〃	0.20	0.20	0.20	
左 官 工		人	0.188	0.271	0.405	
普通作業員		〃	0.06	0.071	0.11	

（注）上記の区分は下記による。

床：舗装、基礎等に係る左官工事

壁：ウォール、砂場、階段等に係る左官工事

特殊：すべり台、水飲み、石の山等に係る左官工事

(2)単価表

①人造石研ぎ出し仕上げ 1 m²当り単価表 (WB610320)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セメント		kg		表8.8
白セメント		〃		〃
砂	洗い細目	m ³		〃
種 石		kg		〃
顔 料		〃		〃
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

②人造石洗い出し仕上げ 1 m²当り単価表 (WB610330)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
セメント		kg		表8.9
白セメント		〃		〃
砂	洗い細目	m ³		〃
種 石		kg		〃
顔 料		〃		〃
左 官 工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

8-4 石仕上げ工

8-4-1 石張仕上げ

(1)適用範囲

本資料は、一般土木及び公園工事で施工する遊歩道、歩道、広場等の舗装・床張り、階段及び壁張り等における平石張工に適用する。

なお、階段は、踏面1,200mm以下、蹴上高400mm以下について適用し、法面は別途考慮する。

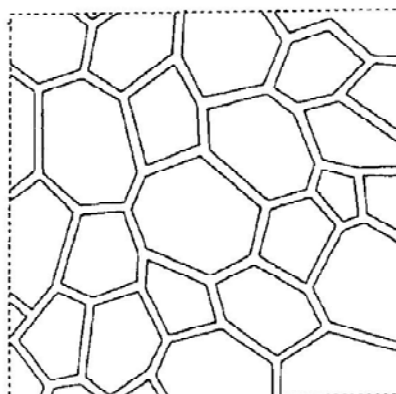
(2)施工概要

平石張とは、平石を敷（張付け）モルタルの上に張っていく工法であり、平石には乱形石と方形石がある。

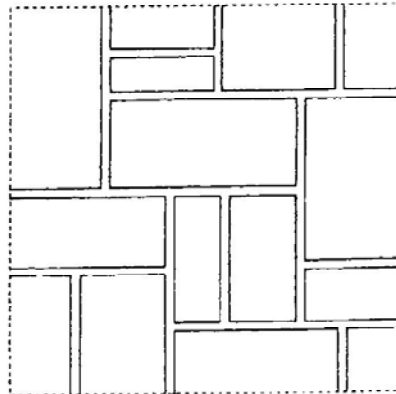
乱形石は不規則な形をした平石であり、方形石は長方形、または正方形に加工した平石である。平石張に使用される石には鉄平石、青石、丹波石、御影石等がある。

(参考図)

乱形石



方形石



(3)施工歩掛

①舗装・床張

舗装・床張の平石張工の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 8.10 平石張工歩掛表(舗装・床張り)

(100㎡当り)

名 称	単 位	数 量	
		乱 形 φ50~600mm程度 平均厚さ10~60mm程度、 重量15kg程度まで	方 形 短辺100mm以上 長辺1,500mm以下、 厚さ25~120mm、 重量60kgまで
世 話 役	人	4.8	3.6
石 工	〃	16.8	8.9
普通作業員	〃	14.5	10.1
諸 雑 費 率	%	13	20

- (注) 1. 目地幅は、平均10mm程度の場合に適用する。
 2. 本歩掛には、敷モルタル、端部処理、目地モルタルの労務及び資材の小運搬（運搬距離20m程度）を含む。
 3. 諸雑費は、敷モルタル材料、目地モルタル材料、ディスクグラインダ、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上とする。

②階段張

階段の平石張工の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 8.11 平石張工歩掛表(階段)

(100㎡当り)

名 称	単 位	数 量	
		乱 形 φ80～400mm程度、 平均厚さ15～40mm程度、 重量 6 kg程度まで	方 形 短辺100mm以上、 長辺920mm以下、 厚さ40～170mm程度、 重量130kgまで
世 話 役	人	9.7	5.5
石 工	〃	22.3	23.0
普通作業員	〃	18.0	14.9
諸 雑 費 率	%	14	15

- (注) 1. 目地幅は、平均10mm程度の場合に適用する。
2. 本歩掛には、モルタル塗り、端部処理、目地モルタルの労務及び資材の小運搬（運搬距離20m程度）を含む。
3. 諸雑費は、モルタル塗り材料、目地モルタル材料、ディスクグラインダ、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上とする。
4. クレーン等が必要な場合は別途計上する。

③壁張

壁張の平石張工の施工歩掛は次表を標準とする。

表 8.12 平石張工歩掛表(壁張り)

(100㎡当り)

名 称	単 位	数 量	
		乱 形 φ60～300mm程度、 平均厚さ15～50mm程度、 重量 7 kg程度まで	方 形 短辺140mm以上、 長辺600mm以下、 厚さ30～120mm程度、 重量60kgまで
世 話 役	人	7.5	9.1
石 工	〃	21.0	19.4
普通作業員	〃	16.7	21.1
諸 雑 費 率	%	14	12

- (注) 1. 目地幅は、平均10mm程度の場合に適用する。
2. 本歩掛には、モルタル塗り、端部処理、目地モルタルの労務及び資材の小運搬（運搬距離20m程度）を含む。
3. 諸雑費は、モルタル塗り材料、目地モルタル材料、ディスクグラインダ、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上とする。

④平石使用量

平石の使用量は、次式による。

$$\text{使用量} = \text{設計量} \times (1 + K) \cdots \cdots \text{式 8.1}$$

K：ロス率

表 8.13 ロス率(K)

区 分	舗装・床張り		階 段		壁張り	
	乱形石	方形石	乱形石	方形石	乱形石	方形石
ロス率	+0.07	+0.03	+0.04	+0.03	+0.08	+0.08

(4)単価表

平石張工100m²当り単価表 (WB221910)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表8.10 表8.11 表8.12
石 工		//		//
普 通 作 業 員		//		//
平 石		m ²		式8.1
諸 雑 費		式	1	表8.10 表8.11 表8.12
計				